

グレートアース新聞

授業のGEって何しているの？

2024年11月

発行者: GEを大切に思う人たち
発行元: 愛知県新城市黄柳野字池田 663-1

第19号

9月は学園祭の時期です。1学期までの学びを発表する機会もあり、GEではこれを機会に自らの学びを振り返り、思いを綴る活動をしています。この活動を通して、自分や友だちの思いが深まり、本当に自分が大切にしたいことが見えてくるのではないかと考え、取り組んでいます。とは言え、考えてばかりの時間では煮詰まることも事実。GEらしく学びをまとめるために出てきたのが「すごろく」です。全てのコマをGEメンバーが体験した内容で作りました。どんなすごろくが完成したか…これからご報告します。

学園祭にて、2024年 グレートアース・「すごろく」登場



先輩になって初めての山菜採り。去年、先輩にやられた事をやり返す♡
「これ、イタドリっていうよ。おいしいよ。」
そうやって、被害者を増やす。
イタドリは、ほくほくとあんまりな味。体で感じる。それも勉強。

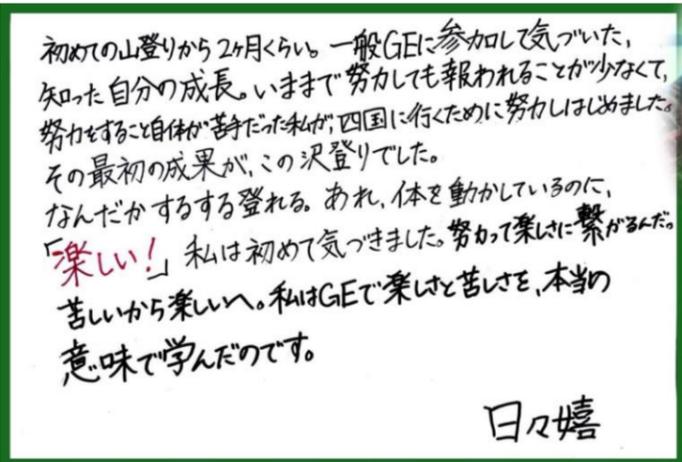
毎年、学園祭ではグレートアースで「体験したこと」「そこで感じたこと」「気づき」などをひとりひとりが深める時間を大切にしています。楽しい体験の中で気づいたことは、研ぎ澄まされた感性で発見したことであり、彼ら自身がみつけた本物です。その気づきを丁寧に深める時間がこの学園祭での取り組みです。書いてみたり、描いてみたり、話してみたり、友だちのものを見聞きしたり…そのような時間が自身の気づきを深め、大切なことが明確になります。

GEでは様々な形で思いを綴ってきました。「歌」「詩」「カルタ」と表現はその年のカラーで行っています。今年のメンバーはとにかく遊ぶことが大好き！そうであれば、自分たちの思いも遊びの中で伝えられるのでは…ということで、すごろくを作ることにしました。まずは、「GE といえば！」というお題から一言で語ってもらいました。そしてなぜその言葉が出てきたか…を掘り下げていきました。

GEといえば「遊び」「自然」「食べる」「命」「自分の気持ちを伝えるところ」などメンバーの気づきをどんどん出していきます。すると、メンバーの思いはいくつかのテーマに分かれていました。そして、メンバーは自分が一番表現したいテーマのグループに分かれ、各々そのテーマですごろくのマスを作り始めました。その内容は自分自身が経験したことです。そして、裏はその思いをその人自身が語ります。その語りが結構大切です。なぜ、楽しかったのか…なぜ、なぜ…と自身の思いを振り返りました。そうしてできたのが、この巨大すごろくです。



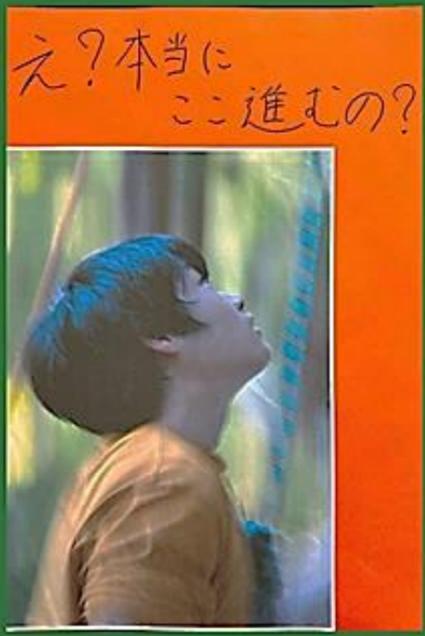
表: すごろくのマス



裏: 感じたことを綴る



ひとり、ひとりの実体験がすごろくに刻まれています。



グレートアースでの体験は、経験
沢登り、クワキング
自然が人々の自然に夢中になる自然
全てを味わうことが、
沢登りでもクワキングでも自然に
でも自然に自然にこの進め方のなる

楽

ハマグリをとりに行ったらザコ貝ばかり!
ハマグリよりもたくさんとれた。どにでもいるか
みかけるためにまたお前かー。と思ってた。
貝を探すのは宝探ししてるみたいで
わくわくして楽しかった。
ザコ貝はとれすぎたから木きりをして、捨てた。
学校に帰って期待せずに食べてみたら、
おいしい!!! おいしくなって覚えてもらってた
から驚いた! こんなにおいしいなら捨てなま
良かたー。
なにごとにもチャレンジ! 自分でたしかめてお
か大事だと思っただ。ザコ貝じゃない! 貝おれかど
みんなて北田さんの足を道いければ何かしら貝があるから楽
かたー!
たくさんとったザコ貝(貝)で氷切りするのを楽しんだ?
がんばって集めた貝をリリースさ

ザコ貝と呼んで捨ててい
貝が実はおいしかった
サイコロをふいて「た目が2
だったら食」エリアの最初のマス
までとべる!



たくさんの経験からどんな
生き方をしたいか考えた。
「未来」を作るのは私た
ち! という意味がある!

ゴール 未来 GOAL!

1年生最初に沢登りした
時は寒さと冷たさに震えながら
滑って転ばない事を意識して
いたけど「寒さに強くなり冷たさに
馴れた今は視野が広がって岩の
隙間とか穴蔵とかを見つけては入っ
てみたり突まってみたりみなとは違うところ
を登るようになった。」

自然

グレートアースの活動で山や川
に行くこと、ひっそりと生えている
キノコをよよくみかけます。
僕はキノコを見つけたことでもうれ
しくなります。なぜならそういつつ小
な発見が自分の感性をより豊かに
すると思っからです。あと、単純
にキノコが好きなのもあります。
きいろ



みんな命にも繋がりがある。
森も川も魚も人も
沢山の繋がりを感じた。
今ある命の全てに
ありがとう。

命

沢登りて
寒さに強くなった
次サイコロを振る時
ろ以下が出た場合2倍になる
3→6
2→4

グレートアースではいろんな専門家
へんたじと出合えて貴重なお話
を聞くことができて並ばなくても話
体験ができてますなので今まで知らなかつ
たことを知れてひとつ成長できてる
梅一葉
(小野)



へいわとせんそうの学びで
僕は今の僕の恵まれてる環境が
良かったと思いつつ別の国で産まれ
ていたらと考えると今のへいわの
大事さと以外と戦争が身近にある怖さ
を感じました。
小野

戦争を知る前
沢山の命が
失われている事
すら知らなかった。



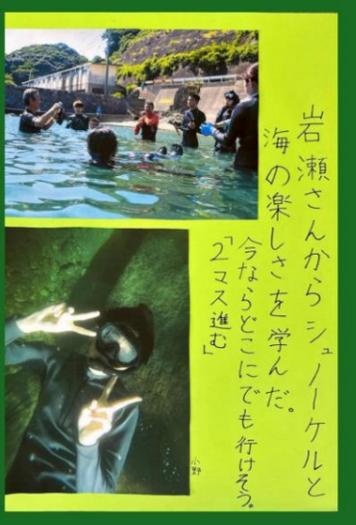
食

このお菓子も長年作り続けられてるんですよ
今沖縄の海の自然を思い出させてくれる
ジュゴン!!
オ命母

ハンバーグがクワターアングラーについて話して
作ったハンバーグが出来た
サウターアングラーも

人・学

一般グレアで行った四国!
シュノーケルで泳ぐのも始めてで
心配な事も多かったけど四国の
海のプロフッショナルの
岩瀬さんが、海の楽しさを
教えてくれて見たことない
景色、知らなかった海の世界を
全身で感じる事ができた。



スタート 未知

「知らない」からスタート
したけど、たくさんの経験
から色んなことを感じた
よ! というメンバーの思い
を込めたスタート「未知」

5つのテーマに分かれて
作られています。

私達がいつもしている食事は、たくさんの命が失われていくのだから、知たと共に命に感謝した。



じゃがいもを獲た!!
2マス進む

地球の力で育てる⇒食

土・水・光=地球の力で育つ植物たちを食べ、地球の力を胃袋で感じる時間です。今年度は「生き物の落し物」を活用し、命の循環に気づける機会となりました。「地球は旨い！」



サツマイモ大収穫



ダイナミックに遊ぶ⇒自然の一部に!

馬背岩の上から水面までは10m近くあって飛び込むのは勇気がいるけど飛んだらめっちゃ楽しかった!!
先に飛んでる人を見てる時は一瞬だったけど自分がいざ飛ぶとめっちゃ遅くて怖かった GE ほか



水と岩と友達になる「浪登り」



ジャガイモ育て中



手作り



「すごろく」で報告 GEの学び

山登り

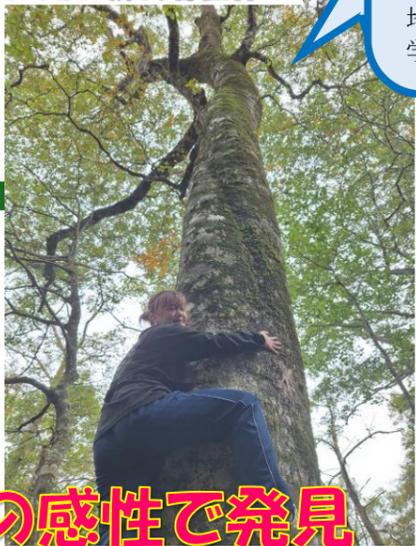
山登りで自然の凄さや厳しさを学んだ。

サイコロで奇数が出たらその数の分マスを進み、偶数が出たらその数の分マスを進む。



山の道は、滑りやすい道や狭くて危険な道などがあり、登るのが大変で、とても疲れたけど、山登りのおかげで、蛇や鳥、植物などの色々な自然の生物を知り、自然の豊かさや凄さを学べた。

愛知県にわずかに残る、原生林へ



自らの感性で発見

⇒気づき⇒考える

遊ぶ心は気づく心に繋がっているように思います。森で遊べば「植林・天然林」の違いに気づいていました。まずは「気持ち〜」から始まり「あれ?木が違う」「キノコが違う」と気づきます。そして「どうしてだろう?」と考え、今の地球の置かれている状況を実感しながら学ぶ時間となりました。



つげの木は宝の山だ!



馬背岩で「」にとびこんだ
楽しくって勇気もついた



×この先のペアルティを一回くわらない

観てるだけではわからない。自らの身体と心で遊ぶ世界がそこにはあります。体験して感じた感性は本物を見抜く感性に繋がっていくように思います。体験⇒気づき⇒深める、を大切に。

クライミングでコースがむずかしかった。
サイコロをふって1〜3が出たらスタートにもとる。4〜5が出たら2回やすみ。6が出たら8マス進んで1回やすみ。

クライミングでむずかしいコースがあったときどうしますか?
あきらめずほかのコースをやる。またがんでみる。とにかくすすむ。とれをせんたくしてまたのいいのがクライミングでゴールしたあとに見える景色はとてきれいで。

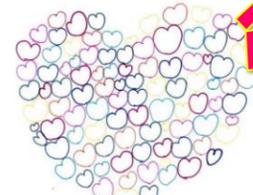


授業をサポートしてラララすれば不思議なキノコも出会えます!
つげの木は宝の山だ!



沖縄の笑顔の源→サーターアンダギーを作り、食べる

沖縄戦を知った
ひめゆりの塔
サンゴ礁失な
命を知った



命を知って賢くなった
2マス進め

命に思いを 寄せる

ハヤブサの子育て観察



子育てしてるハヤブサの親は
自分の子供を見捨てたりせず
しっかり見守り世話をしてく
「かっこいいな」と
思いました。

ハヤブサに
見惚れて
一回休み



ハヤブサ



3羽の可愛いヒナと必死に子育てをする親鳥たちに出会う

学校近くのとある岩場に、毎年ハヤブサが子育てをする場所があります。ハヤブサが必死に繋いでいる命の現場を訪問しました。生き物たちが実際に子育てをしている現場を訪ねる機会は、高校生たちにとって感動の世界。可愛らしいヒナの姿にも見惚れていましたが、命を繋いでいこうとするハヤブサたちの力強さも感じたようです。

命との出会い

米軍基地が建てられたことにより
埋め立てが進んだ??
いつかはサンゴ礁も無くなってしまふのか?
ショックを受け3マス戻る

サンゴ礁と米軍基地について感じたこと
米軍基地が作られるために海が埋め立て
されていき、その悲しい現実にはショックを受けた...
そして、いつか、サンゴ礁まで完全に埋め立て
してしまうのではないかと思うと
自分にはなにも出来ないのか...?
どうしたら
埋め立てを止められるのかを思った。



みんなでGE
への想いを語った
一回休み

好きな事への想いを語る!
GEはGEの好きな事

ハヤブサを見にいった
1回目 うまく「ぞうがんきょう」を使えなかった
(みえだけ)
2回目 「うがんきょう」を使いすぎて目が眩んだ
↓ハヤブサの手は首がくくって体が重かった
3回目 親がエサを探して子供が親をまてた
子供がはたいたた比翼なり聞いたりして
うれしかった
3回行った感想ははたいたたうれしかったりして
かわいかった
1年組ら重野唯来



ハヤブサを見にいった
はたいたたうれしかった
2マス進め

番外:「平和と命を考える会」

今年のノーベル平和賞を日本原水爆被害者団体協議会が受賞したことを受け、改めて、広島・長崎で何が起こったのかを知る時間をもうけました。被団協が今、ノーベル平和賞を受賞した意味を考えた。長年、核廃絶の活動をしている広島市の被ばく者であるサーロー節子さんの絵本を読みました。2学期の授業が終わっている時期でもあり、授業時間外でしたが、聞きたい!という人が集まり開催。この絵本は、サーロー節子さんの被ばくのお話のみでなく、サーロー節子さんが被ばくから立ち上がり、同じ悲しみを繰り返さぬために、未来に向かって生きていくことを語っています。これからの未来を何を大切に、どう生きていきたいか、考える時間となりました。未来が希望となるよう、私たちのできることを考えました。この日は、まず知ること、そして命に思いを寄せる時間を大切にしました。被ばく者の方々が伝えてくれたことをどう受け止め、どんな未来を生きていくか。それは私たち次第です。



絵本「光に向かって」
を読みました。

6月になると行く、沖縄戦の学び。太平洋戦争末期の沖縄の悲劇から、命と向き合う時間です。そして、今もお続く、沖縄の現状にも触れました。多くの人の命が失われ、現状では基地問題が残り、人間だけでなく、多くの生き物たちの命も危機にあります。そのことに始めた触れたメンバーも多かったです。これは沖縄だけの問題ではありません。私たちの問題です。未来を創る一員として、どんな未来を望むのか...高校生なりに、少し考える時間になったのではないのでしょうか。

人の命、生き物の命、全ての命を感じる時間

後半の学びでは、体験し、知ったこと、感じたこと、知らなかった自身の思いを、どう未来に繋げていくのか...そんな問いかけもしているように思います。未来を創るのは私たち自身だからです。一年間の学びを積み上げていくと、徐々に自分自身の願いが生まれてくる高校生たち。その思いを振り返るのが後半戦の学びで大切にしたいことでもあります。そして、力強い命と出会い、圧倒的な大自然に身を置いてきた彼らの感性は、決して悲しみの歴史の色には染まらないと思います。悲しみに目を向ける心を持ち、同じ悲しみを繰り返さないために、希望を持って生きていける感性が育っていると思います。

最初人数が多すぎて話し合いたくもな時間。自分の想いを語っているのを見て、GEに人が集まるのは、必然と感じた。話し合いから引けて煙をたかやすのたのしかった!

編集後記(さ)

毎週木、金曜日で行っている授業のGE。前半は思い切り遊び「おもしろえ」楽しいという活動が多数あり、高校生たちは心が踊り、揺さぶられていました。そして、少しずつ命や自然の置かれている現状を学び始めました。悲しい歴史、現状に目を背けず、真摯に命と向き合うメンバーたち。一緒に悲しむ時間もありませんでした。少し苦しい時間もありました。少し悲しいけれど、体験の気持ちがあるのは、体験の中で素晴らしい命と出会い、魅力的な自然を知っているからだと思います。教えてもらって悲しむのではなく、自らの体験から感じた感情ではなんでしょうか。彼らが実体験を通して感じたことを大切にしたいと思います。